小松菜の栽培

１年　Ｙ．Ｋ

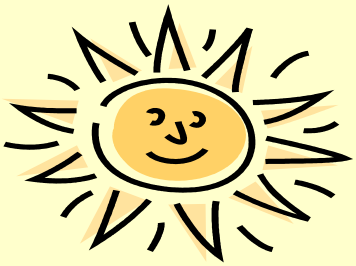
小松菜の特性

・生育温度　５℃～３５℃

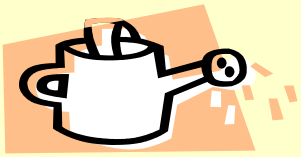
・旬は？　12 月～1 月

・栄養価は？　ビタミンＡに富み、鉄分が豊富で、カルシウムの含有量が高い。

・小松菜を食べると　元気がでて、風邪がなおる。



小松菜の育て方



・土づくり　種まき

（11 月 5 日）

今回使った土は、通気性と保水性と保肥性にすぐれた培養土を使いました。

種のまきかたは、点まきというまきかたをしました。

・間引き（1 月 14 日）

間引きは、病害虫を防ぐために、通気性を良くするためにおこないます。方法は、発芽がそっろたら、発育が悪いものを間引きします。

※間引きした時に気をつけたことは、残したい株まで一緒に抜かないように気をつけました。

・追肥（11 月 26 日）（12 月 3 日）

追肥の目的⇒栄養分をおぎなう

チッ素（N）とリン（P）とカリウム（K）カの肥料の三要素を入れました。

・低温対策

寒さ対策につかったのは、ビニール袋です。小松菜をのせたかごに、ビニール袋をかぶせました。

小松菜を食べよう！

［　調理名　］

小松菜のおかかまよ

［　材料　］

◦マヨネーズ　　◦お酒

◦かつおぶし

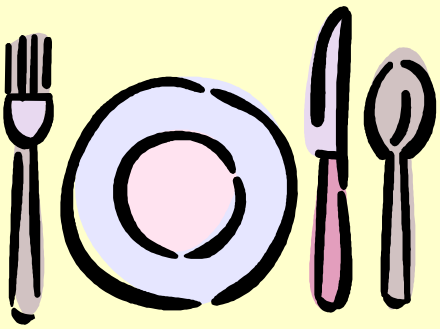
［調理した感想・食べてみた感想］

調理のしかたは簡単なのに、自分が育てた小松菜だと思うと

いつも食べている小松菜より何倍もおいしく感じました。でも、

今まで育てた小松菜なので食べるのが、少し悲しかったです。

今度また家でやってみたいとおもいました。



肥料有りと肥料無しの比較

観察日	肥料有り	肥料無し	作業内容
11月26日			芽がでていなかったので、また種まきをしました。
12月3日			今回も芽がでていなかったので、追加して種をまきました。
12月10日			芽が少しでていました。なので今回は観察をしました。
12月17日			芽が大きくなっていました。なので今回も観察をしました。

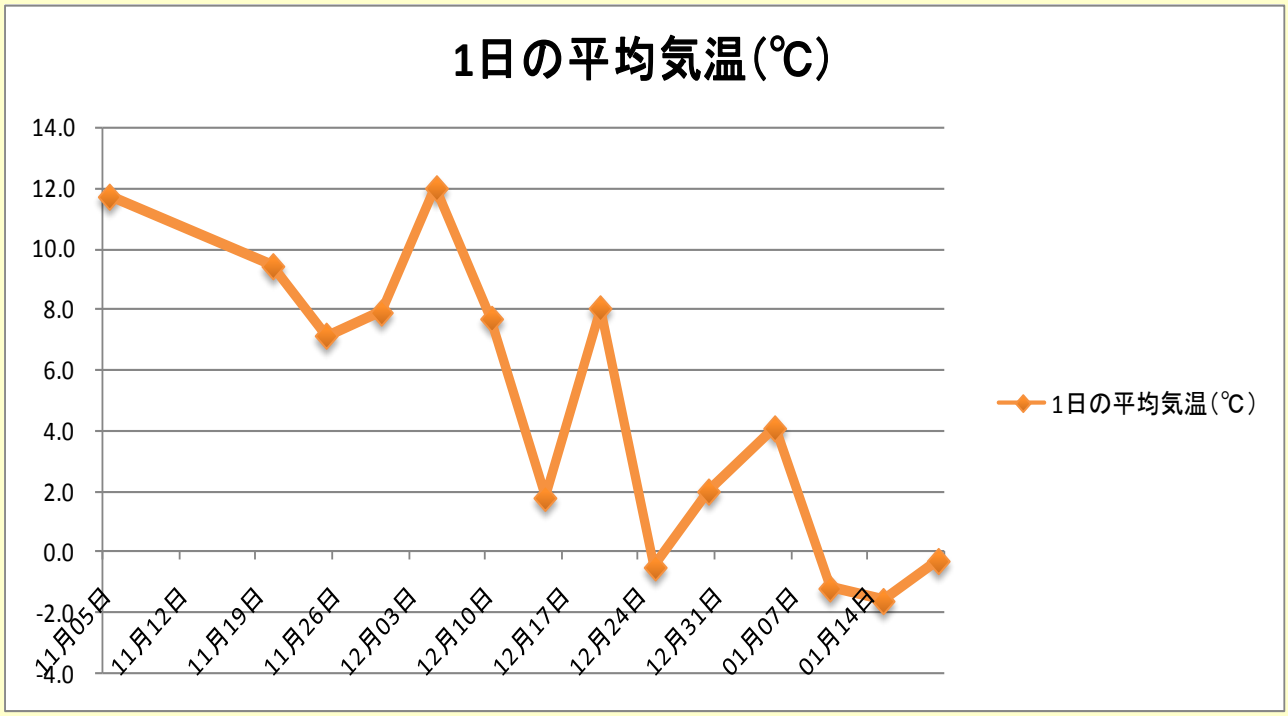
観察日	肥料有り	肥料無し	作業内容
1月14日			大きい葉がたくさんでてきていました。なので今回はまびきをしました。
1月21日			さらに、葉が大きくなっていました。しかも小さい葉がたくさんでてきていたので、今回もまびきをしました。
1月28日			こないだより、大きくなっていました。なので観察をそまそた。

あなたの収穫量　5.28ｇ／株

学級の収穫量平均　9.96ｇ／株

肥料無しの収穫量　6.18ｇ／株

栽培期間中の平均気温の変化



肥料の効果の考察

① 肥料有りと肥料なしを比較すると、私の結果ではあまり差はなかったけれど、肥料有りより肥料なしの方が成長が早かったです。

② 学級の収穫量の平均と肥料なしの収穫量と私の育てた小松菜の収穫量を比べて、私の収穫量は、学級の平均と比べて、収穫量は多かったです。肥料なしと比べたとき、差は少しだったけれど、肥料なしの方が、収穫量が多かったです。

◎分かったこと・まとめ

・ 肥料があっても、植え方や発芽の条件などが違うと、育つ早さや収穫量は変わる。

・ 肥料がなくても育つ。

小松菜の栽培を通して分かったこと

小松菜は、育てるのが簡単であまり植物を栽培したことのない私にでも、簡単に育てることができました。小松菜を育てて分ったことがたくさんあります。

１つは間引きをすることです。いままで家で栽培したとき、間引きをしたことがありませんでした。間引きをすることで、通気性を良くし病害虫を防ぐことができたり、１本だけに栄養をあげることで強い株になること
ができるので、いままでやっなくてもったいなかったとおもいました。

今度、植物を栽培するときは、今回勉強したこといかして、栽培したいとおもいます。「小松菜を栽培育ててよかったなあ」と思いました。